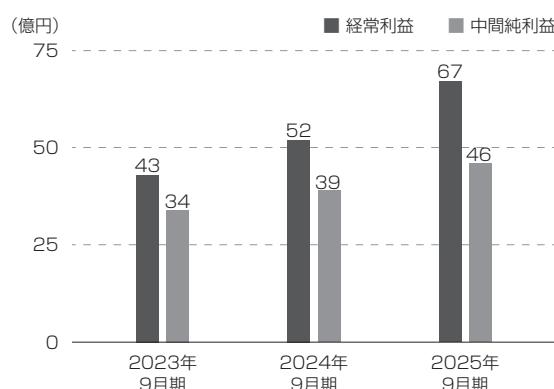
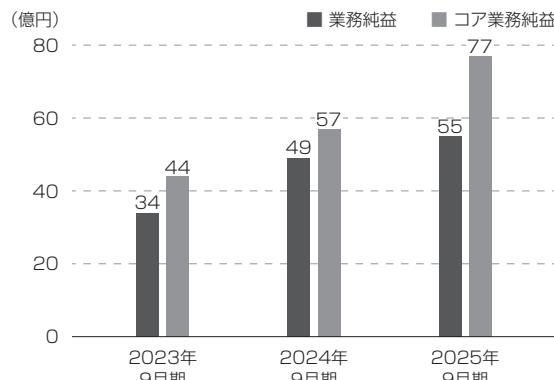


業績ハイライト(沖縄銀行・単体)

損益状況

2025年度中間期の本業の収益力を示すコア業務純益は、貸出金利息、有価証券利息配当金が増加したことなどにより、前年同期比20億円増加の77億円となりました。

経常利益は、コア業務純益の増加及び株式等売却益の増加により、前年同期比15億円増加の67億円となり、最終の中間純利益は前年同期比7億円増加の46億円となりました。



用語解説

【業務純益】

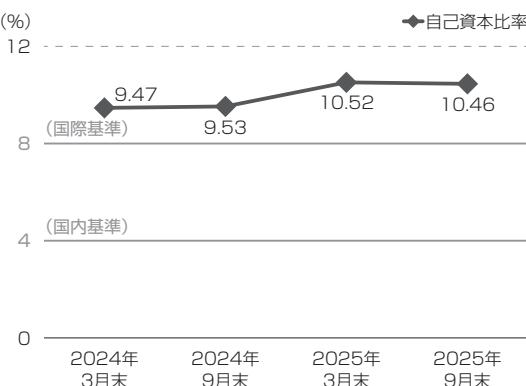
銀行の本来業務(預金・貸出など)で得た利益を表すもので、一般企業の「営業利益」に相当します。

【コア業務純益】

業務純益から「一般貸倒引当金繰入額」、「国債等債券関係損益」などを除いた純粋な収益を表すものです。

自己資本比率

銀行経営の健全性・安全性を測る上で重要な指標のひとつである自己資本比率は、2025年9月末において10.46%となっており、国内基準の4%を大きく上回っています。



用語解説

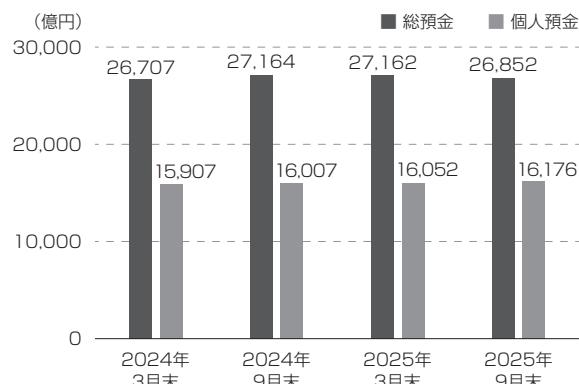
【自己資本比率】

総資産に占める自己資本の割合で、銀行の健全性を示す重要な指標の一つであり、比率が高いほど安定した経営といえます。なお、海外に営業拠点を持つ銀行は8%以上(国際基準)、当行のように海外に営業拠点をもたない銀行は4%以上(国内基準)であることが求められています。

預金

2025年度中間期末の総預金残高は、好調な県経済の影響を受けて、個人預金、法人預金とともに増加する一方、指定金融機関の定期的な変更に伴い公金預金が減少したことから、銀行・信託勘定合計で前年同期比311億円減少の2兆6,852億円となりました。

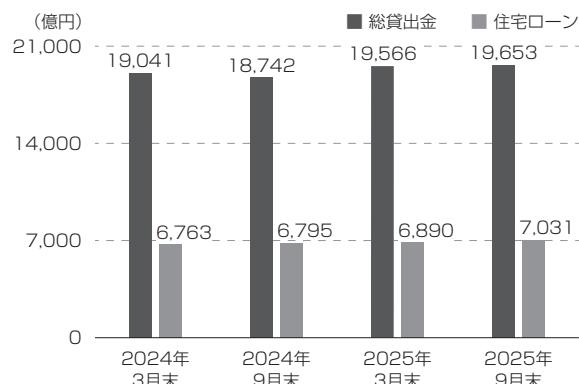
また、沖縄銀行では、多様化する資産運用ニーズにお応えするために、国債や投資信託、個人年金保険などを取り扱っており、お客様さまの資産形成を積極的にサポートしています。



※信託勘定を含んでおります。

貸出金

県内景況の拡大基調を背景とした県内事業者による資金需要の高まりに加え、RORA向上を意識したシンジケートローン等の計画的な取組みにより事業性貸出が増加しました。また、制度拡充(融資上限・融資期間)、営業推進強化により生活密着型ローンが増加しました。これにより2025年度中間期末の総貸出金残高は、銀行・信託勘定合計で前年同期比911億円増加の1兆9,653億円となりました。



※信託勘定を含んでおります。

有価証券

有価証券は、金利リスク、残存期間に配慮しつつ、資金の効率的運用と安定収益確保に努めた結果、期末残高は前年同期比630億円増加の6,422億円となりました。また、その他有価証券評価損益は、前年同期比で評価損が拡大し、△170億円となりました。なお、2025年度中間期の有価証券運用に伴う利息・配当金収入は39億円となっております。

